

－ 2 年次科目・シラバス編－

< 1 > 2 年次共通履修科目

講座名	現代文 B	科目名	現代文 B	単位数	2
科目の種類	共通履修	授業形態	クラス単位による一斉授業		
履修対象者	2 年次生全員				
科目の内容	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字の知識、語句の意味や用法など、国語の基礎力を高める。 ○ 近代以降の小説を読み、人物の描き方、表現技法などについて学ぶとともに、主題をとらえて鑑賞し、文学に対する理解を深める。 4 月 随想 5 月 小説 6・7 月 評論			
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 評論など論理的な文章に触れ、的確に論旨を捉える読解力を高めるとともに、論理的なものの述べ方、表現の仕方などについて理解していく。 ○ 漢字・語句についての力を確かなものにしていく。 9 月 詩 10・11 月 小説 12 月 短歌・俳句			
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 詩や短歌、俳句などの韻文を鑑賞し、ことばに対する感覚を磨き、修辞・表現技法を学ぶ。 ○ 日本文学史上重要な作品・作者について学び、文学史の知識を豊かにする。 ○ 小説・評論などのやや高度な文章を精読し、読解力をさらに高める。 1・2 月 評論 3 月 その他の文章			
評価方法	定期考査（年 5 回） 定期考査を主とし、提出物・小テストなどの平常の活動を加味して総合的に評価する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	問題集購入費				
備考	長期休業中に、読書レポートなどの課題を課する。				

講座名	体育 2	科目名	体育	単位数	2
科目の種類	必修	授業形態	2 クラス合同、男女別で行う		
履修対象者	2 年次生全員				
科目の内容	1 学期	バレーボール、テニス、水泳、サッカー、柔道			
	2 学期	水泳、バスケットボール、テニス、持久走、ダンス（女子） 柔道、サッカー、バレーボール			
	3 学期	持久走、バスケットボール、ダンス			
評価方法	出席、活動状況を総合的に評価する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費					
備考	年度によって種目の変更をする場合もあります。				

講座名	保健2	科目名	保健	単位数	1
科目の種類	必修	授業形態	クラス単位での授業		
履修対象者	2年次生全員				
科目の内容	1学期	2章 生涯を通じる健康 思春期と健康・性への関心・欲求と性行動など			
	2学期	2章 生涯を通じる健康 中高年期と健康・医薬品とその活用など グループで課題を設定し、その課題の研究をおこなう。			
	3学期	グループで課題を設定し、その課題の研究、発表を行う。			
評価方法	定期考査（1学期・2学期） レポート、発表の内容、活動状況、出席を総合的に評価する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費					
備考					

講座名	コミュニケーション英語Ⅱ	科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	4
科目の種類	共通履修	授業形態	習熟度別授業		
履修対象者	2年次生全員				
科目の内容	1学期	コミュニケーション英語Ⅰで育成した、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を伸ばす。 教科書 Lesson1~Lesson4			
	2学期	1学期に続いて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を伸ばす。 教科書 Lesson5~Lesson8			
	3学期	1・2学期に続いて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を伸ばす。 教科書 Lesson9~Lesson10			
評価方法	定期考査を主とし、小テスト・提出物などの平常の学習状況を加味して総合的に評価する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費					
備考					

【人間と社会】

講座名	人間と社会	科目名	人間と社会	単位数	1
科目の種類	必修	授業形態	演習形式／個別活動		
履修対象者	2学年全員				
科目の内容	1学期	4月 オリエンテーション・講話・クラスディスカッション・体験事前学習 5月 働くことの意義(3章)、お金の意義について考える(10章) 6月 学ぶことの意義(2章) 7月～8月 講話・クラスディスカッション、体験活動			
	2学期	9月～11月 講話・クラスディスカッション、体験活動 マナーと社会のルールについて考える(9章) 12月 ボランティア講演会 自然と人間の関わり(13章)			
	3学期	1月 体験活動 3月 体験活動・報告書作成、発表			
評価方法	演習や体験学習への取り組みや課題の提出状況、生徒の自己評価、体験活動の受け入れ先の評価等を総合的に判断し、文章による評価を行う。				
使用教科書	「人間と社会」 東京都教育委員会				
使用教材	ワークシート等(校内作成)				
諸経費	外部での体験・見学等に参加する際の交通費。(個人により異なる)				
備考	「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」等と合わせて、3年間を見通した系統的なキャリア教育を実践するとともに、奉仕・道徳の理念と意義を理解し、社会貢献できる人材を育成する。未来の社会を形成する者として、自分自身の生き方なり方を探求し、進んで自己実現を図る姿勢・態度を育成する。				

【総合的な学習の時間】

講座名	総合的な学習の時間	科目名	総合的な学習の時間	単位数	1
科目の種類	必修	授業形態	一斉授業／個別活動		
履修対象者	2学年全員				
科目の内容	1学期	4月 「総合的な学習の時間」オリエンテーション 5月～6月 進路適性検査、上級学校模擬授業 履修指導 7月 上級学校見学			
	2学期	9月 研究テーマ決定、研究活動計画の策定 10月 履修指導 11月 コーディネーター(担当教員)の支援のもと、調査・研究活動、製作活動等を実施 12月 調査・研究活動、製作活動等			
	3学期	1月 調査・研究活動、製作活動等 2月 調査・研究活動、製作活動等 3月 報告書作成、研究成果発表			
評価方法	日頃の研究活動、報告書、発表にもとづく観察評価や自己評価、相互評価などを総合的に判断し、文章による評価を行う。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	外部での体験・見学等に参加する際の交通費。(個人により異なる)				
備考					

< 2 > 2年次選択科目

【国語】

講座名	国語表現	科目名	国語表現	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択	授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	・言語による表現活動全般に興味のある者 ・進路のために文章表現の学習を希望する者				
科目の内容	1学期	4・5月 文章作成（書く）ための基礎（ことばの基礎）の確認および演習を行う。 あわせて、多様な種類の文章を書く。 6・7月 さまざまな言語表現に接し、その意図、表現技術などについて分析しながら学習する。			
	2学期	9月 さまざまな言語表現について調査・研究を行い、レポートを作成・発表する。 10・11月 的確な情報伝達のために、資料を用いながら文章を書く。 12月 書いた作品を元に、よりよい文章表現について学ぶ。			
	3学期	1・2月 論理的な文章（小論文）の書き方を学ぶ。書いた文章を元に、よりよく書いていくための学習を行う。 3月 基礎レベルの小論文を書く。			
評価方法	定期考査（年2回予定）定期考査と課題提出などの平常活動を総合的に評価する。夏季にレポート作成を行う予定。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	問題集購入費				
備考	毎時間の課題を重視する科目なので、遅刻・欠席をしないこと、および課題の提出を怠らないことが重要である。				

講座名	古典 B	科目名	古典 B	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択	授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	●文系の大学進学希望者 ●大学入試センター試験受験予定者（国公立大学進学希望者及びセンター試験利用の私立大学進学希望者） ●古典の学習に興味・関心・意欲が高い者				
科目の内容	1学期	◆文語文法の基本的事項を確実に理解する。（用言の活用、助動詞、助詞） ◆敬語や修辞法を通じて、日本の表現方法の特質を理解する。 ◆漢文の基本的な句法を確実に理解する。 4月【古】説話 5月【古】随筆 【漢】故事 6月【漢】逸話 【古】歴史物語 7月【古】歴史物語			
	2学期	◆一学期に学習した基本的事項をもとに、多くの作品を読み味わう。 9月【古】和歌 【漢】詩 10月【漢】史伝 11月【古】物語 12月【古】物語 【漢】文			
	3学期	◆一学期に学習した基本的事項をもとに、多くの作品を読み味わう。 1月【古】歌論・随筆 2・3月【古】随筆 【漢】寓話			
評価方法	定期考査 年5回実施 定期考査を主とし、小テスト、提出物などの平常活動を加味して総合的に評価する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	問題集購入代				
備考	◇予習→授業→復習のサイクルを前提に授業を進める。 ◇定期的に小テストを実施する。				

【地理歴史・公民】

講座名	世界史A	科目名	世界史 A	単位数	2
科目の種類	選択必修	授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	地歴科の履修条件を満たす必要のある生徒				
科目の内容	1学期	4月：産業革命と大変革の開始 資本主義と社会主義運動の発生 5月：国民国家の発展と列強の成立 “世界の工場”イギリス ロシアの拡大と改革 6月：南北戦争と戦後の発展 科学の世紀 7月：オスマン帝国の弱体化 侵略に抵抗するイスラーム諸国			
	2学期	9月：ムガル帝国の崩壊とインド大反乱 東南アジアの植民地化 東アジアと列強 10月：アジアにおける工業化と日清戦争 東アジアをめぐる国際関係 辛亥革命 11月：世界を分割する帝国主義 バルカン半島の緊張 第一次世界大戦 ロシア革命 12月：ヴェルサイユ体制 ヨーロッパの荒廃と復興 アメリカ合衆国の繁栄			
	3学期	1月：中東・インドの民族運動 東アジアの民族運動 世界恐慌 2月：ファシズムの台頭 日中戦争 ヒトラーと第二次世界大戦 被害の拡大と戦争終結 3月：戦後世界史			
評価方法	評価方法は考査や授業への取り組みなどを加味して総合的に判断する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費					
備考					

講座名	世界史B	科目名	世界史 B	単位数	4
科目の種類	選択必修	授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	世界史に興味を持つ生徒 世界史を大学受験の試験科目として考えている生徒				
科目の内容	1学期	4～5月：オリエントと地中海世界 6～7月：アジア・アメリカの古代文明 東アジア世界の形成と発展			
	2学期	9～10月：内陸アジア世界の変遷 イスラーム世界の形成と発展 11～12月：ヨーロッパ世界の形成と発展			
	3学期	1～2月：アジア諸地域の繁栄			
評価方法	定期考査を主として、小テストや授業の取り組み状況を加味して総合評価する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費					
備考					

講座名	日本史 A	科目名	日本史 A	単位数	2
科目の種類	選択必履修	授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	地歴科の履修条件を満たす必要のある生徒				
科目の内容	1 学期	4 月 江戸時代までの日本歴史の概説 6 月 幕藩体制の動揺	5 月 江戸時代の社会状況 7 月 明治維新と近代国家の成立		
	2 学期	9 月 国際関係の推移と近代産業の成立 11 月 第一次世界大戦と日本	10 月 政党政治の展開と大衆文化の形成 12 月 第二次世界大戦と日本		
	3 学期	1 月 戦後の政治と社会 3 月 現代の日本と世界	2 月 経済国家としての発展		
評価方法	定期考査あり。 定期考査を主とし、授業への取り組みなどを加味して総合評価する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費					
備考					

講座名	日本史 B	科目名	日本史 B	単位数	4
科目の種類	選択必履修	授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	文系大学に進学希望の者、日本史を詳細に学びたい意欲のある者				
科目の内容	1 学期	大学受験レベルに対応できる政治・社会・経済史など一般通史を学ぶ。 4 月 旧石器時代から弥生時代 6 月 律令国家、奈良時代			
	2 学期	大学受験レベルに対応できる政治・社会・経済史など一般通史を学ぶ。 9 月 摂関政治、荘園と武士、 11 月 鎌倉時代			
	3 学期	大学受験レベルに対応できる政治・社会・経済史など一般通史を学ぶ。 1 月 室町時代後半 3 月 幕藩体制の成立			
評価方法	定期考査を主とし、授業への取り組み、課題の提出状況などを加味して総合評価する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費					
備考	幕藩体制の動揺以降の範囲は、3年次の「日本史 B 演習」で実施する。				

講座名	地理B	科目名	地理B	単位数	4
科目の種類	総合・自由選択	授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	大学入学試験受験予定者、地理的な出来事や世界の諸問題に関心がある人、地図を見たり旅行したりすることが好きな人など				
科目の内容	1学期	4月 地形環境を中心に地球環境を理解し、人々の生活との関連を理解する。 5月 気候環境を中心に地球環境を理解し、人々の生活との関連を理解する。 6～7月 農産物や鉱産物などの生産・流通の仕組み、世界の衣食住の概要を理解し、生活と文化についての基本的事象を理解する。			
	2学期	9月 地形図の読み方を習得し、地域調査法を理解する。 10月 アジア、アフリカの生活や文化を理解する。 11～12月 ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニアの生活や文化を理解する			
	3学期	1月 身近な地域の調査法を理解する。 2～3月 食糧問題、都市問題、資源・エネルギー問題など、現代世界が抱える地球規模の諸問題の現状を理解し対策を考察する。			
評価方法	定期考査を主とし、白地図の作業学習や課題の提出状況も加味し、総合的に評価する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費					
備考					

【数学】

講座名	数学A	科目名	数学A	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択	授業形態	一斉授業		
履修対象者	進学希望者で数学Aを必要とする者				
科目の内容	1学期	* 場合の数と確率 集合とその要素の個数（集合、集合についての表記） 場合の数（和の法則・積の法則、順列、組合せ） 事象と確率、確率とその基本性質、独立な試行と確率、反復試行の確率、条件付き確率			
	2学期	* 平面図形 三角形の辺と比、外心、内心、重心、チェバの定理・メラネウスの定理 円に内接する四角形、円と直線、方べきの定理、2つの円 * 整数の性質 約数と倍数（約数と倍数・最大公約数と最小公倍数、整数の割り算と商および余り）			
	3学期	* 整数の性質 ユークリッドの互除法（ユークリッドの互除法、一次不定方程式） 整数の性質の活用（n進法、分数と小数）			
評価方法	定期考査を中心に総合的に評定をつけます				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	教科書・問題集購入費のみ				
備考					

講座名	数学Ⅱ	科目名	数学Ⅱ	単位数	4
科目の種類	総合・自由選択	授業形態	一斉授業		
履修対象者	理数系大学進学希望者または理数系科目に興味を持つ者				
科目の内容	1学期	4月 式と証明 6, 7月 図形と方程式	5月 複素数と方程式		
	2学期	9月 三角関数 11月 対数関数	10月 指数関数 12月 微分法		
	3学期	1月 微分法	2, 3月 積分法		
評価方法	定期考査を中心に総合的に評定をつけます。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	教科書・問題集購入費のみ				
備考					

講座名	数学B	科目名	数学B	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択	授業形態	一斉授業		
履修対象者	理数系大学進学希望者または理数系科目に興味を持つ者				
科目の内容	1学期	4月 等差・等比数列 5月 いろいろな数列 6, 7月 漸化式と数学的帰納法			
	2学期	9, 10月 ベクトルとその演算 11, 12月 ベクトルと図形			
	3学期	1, 2月 空間座標と空間のベクトル 3月 空間のベクトルの応用			
評価方法	定期考査を中心に総合的に評定をつけます。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	教科書・問題集購入費のみ				
備考					

講座名	数学 I A 演習 X		科目名	数学 I	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択		授業形態	一斉授業		
履修対象者	大学入試センター試験（数学 I・A）受験予定者、看護系・公務員試験受験予定者					
科目の内容	1 学期	4 月	数と式	5 月	数と式・2 次関数	
		6 月	2 次関数	7 月	2 次関数	
	2 学期	9 月	図形と計量	10 月	図形と計量	
		11 月	場合の数と確率	12 月	場合の数と確率	
	3 学期	1 月	整数の性質	2 月	整数の性質	
		3 月	総合演習			
評価方法	演習への取り組み、定期考査を総合的に評価する					
使用教科書						
使用教材						
諸経費	問題集購入費のみ					
備考						

【理科】

講座名	物理基礎 α		科目名	物理基礎	単位数	2	
科目の種類	選択必修		授業形態	一斉授業			
履修対象者	全員(物理基礎は α もしくは β の何れかを選択)						
科目の内容	1 学期	4 月	物体の運動	5 月	物体の運動		
		6 月	力と運動	7 月	力と運動		
	2 学期	9 月	仕事と力学的エネルギー	10 月	熱		
		11 月	波の性質、音	12 月	波の性質、音		
	3 学期	1 月	電気と磁気				
		2 月	エネルギーとその利用、物理学が拓く世界				
評価方法	定期考査・出席点・提出物点・授業態度で総合的に評価する。						
使用教科書							
使用教材							
諸経費							
備考	センター試験等受験で物理基礎を必要とする者は物基礎 β を履修すること。						

講座名	物理基礎β		科目名	物理基礎	単位数	4
科目の種類	選択必修		授業形態	一斉授業		
履修対象者	全員(物理基礎はαもしくはβの何れかを選択)					
科目の内容	1学期	4月 物体の運動 6月 力と運動	5月 物体の運動 7月 力と運動			
	2学期	9月 仕事と力学的エネルギー 11月 波の性質、音	10月 熱 12月 波の性質、音			
	3学期	1月 電気と磁気 2月 エネルギーとその利用、物理学が拓く世界				
評価方法	定期考査(年5回)・出席点・提出物点・授業態度で総合的に評価する。					
使用教科書						
使用教材						
諸経費						
備考	理工系学校志望者。物理基礎を受験で必要とする者。 センター試験入試を希望する者。					

講座名	化学基礎α		科目名	化学基礎	単位数	2
科目の種類	選択必修		授業形態	一斉授業		
履修対象者	全員(化学基礎はαもしくはβの何れかを選択)					
科目の内容	1学期	4月 物質の探求 6月 化学結合	5月 元素の構造と元素の周期表 7月 物質質量			
	2学期	9月 化学反応式と量的関係 11月 中和反応	10月 酸と塩基 12月 酸化還元反応			
	3学期	1月 イオン化傾向と電池 2月 電気分解と量的関係				
評価方法	主に定期考査で評価するが、その他、出席状況・実験レポート・提出物・授業への取組み等を総合的に加味する。					
使用教科書						
使用教材						
諸経費						
備考	化学を受験で必要としない生徒。					

講座名	化学基礎β	科目名	化学基礎	単位数	4
科目の種類	選択必修	授業形態	一斉授業		
履修対象者	全員(化学基礎はαもしくはβの何れかを選択)				
科目の内容	1学期	4月 物質の探求 6月 化学結合	5月 元素の構造と元素の周期表 7月 物質量		
	2学期	9月 化学反応式と量的関係 11月 中和反応	10月 酸と塩基 12月 酸化還元反応		
	3学期	1月 イオン化傾向と電池	2月 電気分解と量的関係		
評価方法	主に定期考査で評価するが、その他、出席状況・実験レポート・提出物・授業への取り組み等を総合的に加味する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費					
備考	化学を受験でもしくは上級学校で必要とする生徒。				

【保健体育】

講座名	*スポーツ専攻中級	科目名	スポーツ専攻中級	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択	授業形態	実技および講義		
履修対象者	体育大学進学者以外の者も履修できる。				
科目の内容	1学期	団体種目・個人種目から選択し、年間を通じ実技・理論を学習する			
	2学期	団体種目・個人種目から選択し、年間を通じ実技・理論を学習する、及びスポーツ大会の企画・準備・運営			
	3学期	団体種目・個人種目から選択し、年間を通じ実技・理論を学習する			
評価方法	出席状況、活動状況等を総合的に評価する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費					
備考	運動部等に所属し、活動に支障のないスキルと自己の能力をスキルアップする態度を身につけていること。				

講座名	*リバースポーツ		科目名	リバースポーツ	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択		授業形態	実技および講義		
履修対象者	2・3年次で生涯的に水辺や山でのレクリエーションの指導や活動を身につけたい者。					
科目の内容	1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・カヌーやシーカヤックの特性を講義や実技を通して理解する。 ・カヌーやシーカヤック等を使用し川で安全活動ができるようにする。 				
	2学期	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺での事故防止や救急法を理解するとともに、実践できるように習得する。 ・プールにおいて、カヌーを利用した球技等を実施する。 				
	3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・安全にキャンプや水辺での活動を行えるように、指導法や理論を身につける。 ・多摩川流域の調査、問題提議を行い、グループ学習によりレポート作成を行う。 				
評価方法	出席、活動状況等を総合的に評価する。					
使用教科書						
使用教材						
諸経費						
備考	・水辺で使用する、衣類および専用の靴を用意すること。					

講座名	野外活動Ⅹ		科目名	スポーツⅤ	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択		授業形態	実技および講義		
履修対象者	2年次 自然の中で集団で行う種々の活動を身につけたい者					
科目の内容	1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・野外活動の基礎的な知識・技術の習得。 ・集団でのコミュニケーション能力の習得。 				
	2学期	<ul style="list-style-type: none"> ・野外活動で使用する、道具の整理および用品を自ら作成し使用する。 ・着衣泳や飯盒炊爨などを行う。 ・環境との調和を理解するとともに、エコについて考え実践していく。 				
	3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションゲームを実践し、リーダーシップをとれるように学習する。 ・自他の安全を考慮し、年齢や性差の区別なく実践できる能力を身につける。 				
評価方法	出席、活動状況等を総合的に評価する。					
使用教科書						
使用教材						
諸経費	年間 4,000 円					
備考	・野外活動で必要とされる、衣類、専用のシューズを用意すること。					

講座名	スポーツ概論 I	科目名	スポーツ概論	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択	授業形態	実技および講義		
履修対象者	2年次 体育系大学に進学を希望する者は履修することが望ましい。				
科目の内容	1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育スポーツに関する知識や社会におけるスポーツの意義、問題点について学ぶ。 ・ 筋肉の構造や働き等を学習する。 			
	2学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育スポーツに関する知識や社会におけるスポーツの意義、問題点について学ぶ。 ・ 筋肉の構造や働き等を学習する。 			
	3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育スポーツに関する知識や社会におけるスポーツの意義、問題点について学ぶ。 ・ 筋肉の構造や働き等を学習する。 			
評価方法	定期考査 1学期、2学期 出席、活動状況、定期考査の内容等を総合的に評価する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	年間 2,000 円				
備考	本科目を履修した生徒のみが、3年次にスポーツ概論Ⅱを履修できる。				

【芸術】

講座名	*現代の音楽A	科目名	現代の音楽 A	単位数	2
科目の種類	自由選択	授業形態	一斉授業及びグループ活動		
履修対象者	音楽系、保育系の進路を考えている者。また、音楽を真剣に愛好する者。				
科目の内容	1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲 音の長さ、リズムと拍子、音程 ・ 発声法 平易な2部、3部合唱を使用して ・ リズム打ち、リズム聴音 			
	2学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合唱 ハーモニーを重視して ・ 楽器演奏 鍵盤楽器、ギターなど（独奏およびアンサンブル） ・ 楽典 音階、調性 			
	3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鑑賞 ミュージカル、オペラ ・ 合唱コンクール練習 			
評価方法	活動ごとの実技テスト、及び鑑賞などのレポート提出。また出席状況、授業態度を加味し総合的に評価する				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	楽譜代（約 1,000 円程度）※都合によって変更する場合があります。				
備考	グループ学習があるため履修生徒は 20 名程度にとどめる				

講座名	*現代の工芸		科目名	現代の工芸	単位数	2
科目の種類	自由選択		授業形態	美術・デザイン		
履修対象者	美術系、工芸系の進路を考えている者。また、工芸を真剣に愛好する者。					
科目の内容	1学期	様々な材料を用いて作品を制作する中で、「用と美」の心と表現する力を深く学ぶ。 ワックス・モデリングによる銀の指輪制作				
	2学期	新素材による立体造形（技法の応用） 七宝技法の研究				
	3学期	現代の工芸による表現				
評価方法	完成作品が提出されていることが前提で、出席状況・授業態度、作品の制作過程、完成度などを総合的に評価する。					
使用教科書						
使用教材						
諸経費	材料費の購入に 5,000 円程度必要					
備考	削る・磨くなどの細かくて地味な作業が多く、課題によっては正確さを求められる。 課題作品には意欲・根気を持って取り組み、提出期限を守ること。 ※ 課題内容は都合により若干変更される場合があります。 尚、有機溶剤や漆のアレルギーを持っている生徒は事前に相談してください。					

講座名	*現代の書道		科目名	現代の書道	単位数	2
科目の種類	自由選択		授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	書の多様な世界に興味があり、書の表現技術を高めようと思う者。					
科目の内容	1学期	4月	オリエンテーション	5月	現代の書の傾向	
		6月	古典の学習	7月	書道史	
	2学期	9月	様々な用具・素材による創作活動		10月	様々な用具・素材による創作活動
11月		刻字		12月	篆刻	
3学期	1月	身のまわりの文字		2月	様々な用具・素材による創作活動	
	3月	身のまわりの文字				
評価方法	提出作品、学習意欲や学習態度などを元に総合的に評価する。定期考査なし。					
使用教科書						
使用教材						
諸経費	半紙・墨液などの教材費。5,000 円以下を予定しています。					
備考	筆・文鎮・下敷きなどは生徒が用意する。					

講座名	*陶芸 A		科目名	陶芸 A	単位数	2
科目の種類	自由選択		授業形態	選択者による一斉授業		
履修対象者	陶芸を通して生活を豊かにしたい者					
科目の内容	1 学期	手びねりにより基礎行程を学ぶ 電動ろくろの基本技術を学ぶ				
	2 学期	電動ろくろの練習、演習と扱い方法から基本形体を作る（茶器など） 電動、手びねり、各自選択して制作する				
	3 学期	課題制作、食器、花器の制作				
評価方法	観点別に、関心・意欲、発想・構想、独創・技能、鑑賞、特に技能を重視する					
使用教科書						
使用教材						
諸経費	5,000 円程度（材料費として）					
備考	作業着が必要（ジャージ可）※課題内容は都合により変更される場合があります。					

講座名	*鍵盤楽器演習 X		科目名	鍵盤楽器演習 X	単位数	2
科目の種類	自由選択		授業形態	個別実技学習。（1 講座 12 名まで）		
履修対象者	音楽系及び保育・福祉系の進路を考えている者。また鍵盤楽器での演奏に興味を持っている者。3 年次の「鍵盤楽器演習 Z」の履修希望時には、本講座の履修者を優先する。					
科目の内容	1 学期	各自の段階を把握し、ピアノ実技課題を設定する ピアノ及びキーボードを用いて個別練習。必要に応じて読譜のための楽典の学習も行う 1 学期末実技発表会				
	2 学期	新たな課題を設定する ピアノ及びキーボードを用いて個別練習。 2 学期末実技発表会				
	3 学期	新たな課題を設定する ピアノ及びキーボードを用いて個別練習。 3 学期末実技発表会				
評価方法	各期に行う実技発表での演奏を評価する。普段の授業での取り組み方（態度）も加味する					
使用教科書						
使用教材						
諸経費	楽譜代として 1,000 円～2,000 円程度					
備考	音楽室の環境（楽器及び電源）に制限があるため、履修生徒数は 12 人以内にとどめる。					

講座名	素描 A	科目名	素描	単位数	2
科目の種類	総合選択	授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	美術系進路希望者、描写の技術を徹底して身に付けたい者。2、3年でビジュアルデザイン、絵画を履修予定の者は、本授業を履修することが望ましい。				
科目の内容	1 学期	鉛筆、木炭を用いて素描（デッサン）作品を制作。描写の基礎技術を習得する。 4月～5月 両手のデッサン 5月～6月 石膏デッサン（半面面取り） 7月 石膏デッサン（首像）			
	2 学期	9月～10月 静物デッサン（中型モチーフ） 10月～11月 校舎内外風景 11月～12月 静物細密デッサン			
	3 学期	1月 想定構成デッサン 2月 人物デッサン（モデル）			
評価方法	完成作品の他、制作過程、出席状況などを総合して評価する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	8,000 円程度				
備考	毎回の課題作品に集中して取り組み、完成させることが必要となる。 年間を通して自宅などでの宿題課題を課す予定である。（宿題も評価の対象です） 課題内容は変更することがある。				

講座名	絵画 A	科目名	絵画	単位数	2
科目の種類	総合選択	授業形態	選択者による一斉授業		
履修対象者	原則として1年で絵画初級を履修した者（絵画初級を履修していない者でも履修できるが、履修登録前に必ず教科と相談すること）。 美術系進路希望者（または同等の指導によって絵画表現の技術を身に付けたい者）。				
科目の内容	1 学期	油絵作品制作を通して、油絵技法の基礎を十分修得し、対象を観察・表現する力を養う。 オリエンテーション、キャンバス張り 静物画			
	2 学期	静物画№2			
	3 学期	モデル人物画			
評価方法	完成作品の他、制作過程、出席状況、および美術館鑑賞レポートを総合して評価する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	油絵追加画材・キャンバス代として 10,000 円程度（油絵セットを持っていない生徒は別に 10,000 円程度必要です。）				
備考	毎回の課題作品に集中して取り組み、完成させることが必要となる。				

講座名	ビジュアルデザイン A	科目名	ビジュアルデザイン	単位数	2
科目の種類	総合選択	授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	大学、専門学校でのデザイン・工芸・建築・服飾・美容への進学希望者及びデザイン表現に興味関心が強い生徒。				
科目の内容	1 学期	・日本の伝統色、伝統文様からのデザイン展開			
	2 学期	・色彩心理に基づいた効果的な色彩計画と構成意匠計画			
	3 学期	・ブランディングと意匠計画			
評価方法	授業での活動状況、課題への取り組み、提出物、作品の内容、プレゼンテーション、出席状況を総合的に評価する。				
使用教科書					
使用教材	実習作品材料等				
諸経費	5,000 円程度を予定				
備考	個人の制作状況によっては、絵具の補充などで、さらに経費がかかる場合がある。				

講座名	クラフトデザイン A	科目名	クラフトデザイン	単位数	2
科目の種類	総合選択	授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	デザイン・工芸に進路を考えている者。立体造形やデザインに興味がある者				
科目の内容	1 学期	紙による立体表現（基礎）			
	2 学期	立体造形表現（基礎）			
	3 学期	立体構成（基礎）			
評価方法	完成作品が提出されていることが前提で、出席状況・授業態度、作品の制作過程、完成度などを総合的に評価する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	材料費の購入に 5,000 円程度必要				
備考	課題作品には意欲・根気を持って取り組み、提出期限を守ること。				

【外国語・英語】

講座名	英語表現ⅡA	科目名	英語表現Ⅱ	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択	授業形態	一斉授業		
履修対象者	大学・短大・専門学校等に進学を希望する生徒				
科目の内容	1 学期	英語表現Ⅰで育成した、英語を通じて事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力と、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を伸ばす。語彙・文法に関する練習もする。			
	2 学期	1 学期に続いて、英語を通じて事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力と、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を伸ばす。語彙・文法に関する練習もする。			
	3 学期	1・2 学期に続いて、英語を通じて事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力と、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を伸ばす。語彙・文法に関する練習もする。			
評価方法	定期考査・提出物などの平常点で総合的に評価				
使用教科書					
使用教材					
諸経費					
備考					

講座名	英語会話Ⅹ	科目名	英語会話	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択	授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図りたい、また身近な話題について会話したいもの				
科目の内容	1 学期	①英語で次のような表現を使用できるようになる。(・自己紹介・あいさつ・意味を尋ねる、聞き返す・意味を説明する・許可を求める、与える・リストアップする・意見を言う) ②自身に関するテーマ(名前、趣味など)でスピーチを行う。			
	2 学期	①英語で次のような表現を使用できるようになる。(・興味、関心を伝える・誘う、誘いを断る・許可を求める、許可しない・同情する・事情を理解する・助言する) ②目的に沿ったテーマ(旅行、レシピなど)でスピーチを行う。			
	3 学期	①英語で次の表現を使用できるようになる。(・描写する・距離、方角や場所の特徴・道案内・買い物での会話・レストランでの会話・過去に起きた出来事) ②目的に沿ったテーマ(本、映画など)でスピーチを行う。			
評価方法	授業参加度・定期試験・スピーチ、会話テスト・提出物の観点から総合的に判断する				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	教科書代				
備考	ペアワークやグループワーク、また発表の多い授業です。2・3年共修科目。				

【家庭】

講座名	栄養X	科目名	栄養	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択	授業形態	一斉授業		
履修対象者	栄養・調理関係、ならびにスポーツ栄養、看護、福祉関係への進路希望者				
科目の内容	1学期	4月 栄養とは 4月～6月 栄養素の機能と代謝 7月 食事摂取基準と献立			
	2学期	9月 乳幼児期、青少年期の栄養、調理実習 10月 成人期、高齢期の栄養、妊娠・授乳期と栄養、調理実習 11月～12月 労働・スポーツと栄養、病態と栄養			
	3学期	1月～3月 食生活と健康増進			
評価方法	定期考査、出席状況、課題提出を総合的に評価する				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	調理実習費を1,000円程度				
備考	栄養Yと同じ内容となります。				

講座名	子どもの発達と保育	科目名	子どもの発達と保育	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択	授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	児童福祉に興味・関心のある生徒で保育系進学希望者				
科目の内容	1学期	4月 乳幼児に関わる職業 5～6月 乳幼児の心身の発達と児童文化財 7月 乳幼児の生活と児童文化財			
	2学期	9月 乳幼児の生活と児童文化財 10～11月 乳幼児の保育 12月 乳幼児の保育			
	3学期	1月 乳幼児の保育 2～3月 乳幼児の福祉			
評価方法	定期考査（年3回あり） 出席状況、授業での課題への取り組みと提出レポート、考査等を総合的に評価する				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	実習に伴う教材費（各自負担となる費用 1,500円程度）				
備考	1学年で「社会福祉基礎X」を履修しなかった生徒は、2学年で「社会福祉基礎Y」をあわせて履修するとよい。3学年で「子ども文化」を選択する予定の生徒は、2学年で「子どもの発達と保育」を履修するのが望ましい。希望者で夏休みに実施する家庭・福祉科福祉施設合宿に参加することでより実践的な学びを深めることができる。（参加費用が別途かかる）				

講座名	ファッションデザイン	科目名	ファッションデザイン	単位数	2
科目の種類	自由選択	授業形態	一斉授業		
履修対象者	衣服製作やデザインについて興味・関心があるもの				
科目の内容	1学期	4月 平面デザイン（点をてがかりにしたデザイン） 5～7月 ファッションデザイン画の基礎 ハーフサイズボディ実習			
	2学期	9月 ファッションデザイン画 10～12月 平面デザイン（線、面をてがかりにしたデザイン） ハーフサイズボディ実習			
	3学期	1月 歴史服を手掛かりにしたデザイン 2～3月 商品企画（ブランド立ち上げ企画シミュレーション演習）			
評価方法	作品、課題の提出、取り組み態度、出席状況を総合的に評価する				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	実習費として 500 円程度（画用紙、シルクペン）				
備考	ハーフサイズボディの数の都合上 16 名以内が望ましい				

講座名	フードデザイン	科目名	フードデザイン	単位数	2
科目の種類	自由選択	授業形態	一斉授業		
履修対象者	栄養・調理関係への進学希望者。食生活や調理に興味・関心がある者。				
科目の内容	1学期	4月 調理の基本操作、食べ物のおいしさ 5月 調理実習 6月 食品の特徴と性質（穀類、いも類、砂糖）、調理実習 7月 食品実験			
	2学期	9月 食品の特徴と性質（豆類、野菜類、くだもの、きのこ・海藻類）、調理実習 10～11月 調理実習 12月 食品実験			
	3学期	1月 食品の特徴と性質（魚介類、肉類、卵類） 2～3月 調理実習			
評価方法	定期考査（2回）、調理実技テスト、調理レポート、出席状況、授業態度を総合的に評価する				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	調理実習 15 回分として調理実習費 5,000 円				
備考	調理台の都合上 21 名を上限とする。グループによる調理実習を基本とする。				

講座名	ファッション造形基礎A	科目名	ファッション造形基礎	単位数	2
科目の種類	自由選択	授業形態	一斉授業		
履修対象者	衣服製作や服飾に興味・関心のある生徒				
科目の内容	1学期	採寸と原型作成 スカートの製作			
	2学期	原型を応用したブラウスの作成 文化祭作品展示（ファッションショーに出品）			
	3学期	チュニックブラウス			
評価方法	作品、授業への取り組み態度、出席状況を総合的に評価する				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	各自負担（布、糸等の実習材料）				
備考	ファッションデザインも同時に選択することが望ましい				

講座名	消費生活	科目名	消費生活	単位数	2
科目の種類	自由選択	授業形態	一斉授業		
履修対象者	家庭経済および生活設計に興味・関心のある者				
科目の内容	1学期	人生をどのように生きるか、どのように生活するかについて、経済面を中心に学ぶ。 4月～5月 一人暮らしのための生活設計 6月～7月 契約と消費生活（消費者トラブルの回避方法・対処方法）			
	2学期	人生をどのように生きるか、どのように生活するかについて、法律面を中心に学ぶ。 9月～10月 消費者生活と安全、生活情報の活用について 11月～12月 生活と法律について			
	3学期	人生をどのように生きるか、どのように生活するかについて、卒業後の経済的な自立をシミュレーションする。 1月～2月 家計管理および貯蓄について			
評価方法	定期考査（年2回あり）、出席状況、授業での課題への取り組みと提出レポートを総合的に評価する				
使用教科書					
使用教材					
諸経費					
備考					

講座名	生活支援技術A	科目名	生活支援技術	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択	授業形態	科目選択者による一斉授業（2学年のみ）		
履修対象者	福祉・医療系進学希望者および「知的障害者移動支援従業者養成研修」・「全身性障害者移動支援従業者養成研修」の修了を目指す生徒は選択すると良い。3年次に「生活支援技術B」を選択したい人は、2年次に「生活支援技術A」を選択すると良い。				
科目の内容	1学期	4月 障害者福祉に関する制度及びサービス 5月 知的障害者ホームヘルプサービスに関する知識 6月 サービス利用者の理解・移動支援の基礎知識 7月 移動支援に係る技術			
	2学期	9月 移動支援に係る技術 10月 身体障害者ホームヘルプサービスに関する知識・サービス利用者の理解 11月 サービス利用者の理解・移動支援の基礎知識 12月 移動支援の基礎知識			
	3学期	1月～3月 車いすでの移動の支援に係る技術			
評価方法	定期考査 年3回あり 出席状況・授業への取り組み・課題の提出・定期考査などを総合的に評価する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	教科書・テキスト代の他に実習に伴う教材費として自己負担 500円程度				
備考	「知的障害者移動支援従業者養成研修」・「全身性障害者移動支援従業者養成研修」講習のため授業開始が10分早まる。欠席が多いと修了証の発行が出来ない。授業内で移動支援に関わる演習を行う。この授業を選択する生徒で、1年次に「社会福祉基礎X」を履修していない生徒は「社会福祉基礎Y」をあわせて履修するとよい。夏休みに実施する家庭・福祉科合宿に参加することでより実践的な学びを深めることができる。（参加費用が別途かかる）				

講座名	*点字実習		科目名	点字実習	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択		授業形態	選択者による一斉授業 (2・3年合同)		
履修対象者	「生活支援技術 A・B」を選択する生徒はあわせて選択することにより、より内容を深めることができる。保育・福祉系に進路を希望する人は選択すると良い。					
科目の内容	1 学期	視覚障害者への理解を深め、点字の基礎から学習をする。				
		4 月	視覚障害者理解	5 月	点字の成り立ち	
		6 月	点字の基礎	7 月	分かち書き	
	2 学期	9 月	分かち書き	10・11 月 短文の点訳		
		12 月	郵便物や長文の点訳			
	3 学期	1 月	重複障害者におけるコミュニケーション方法の理解			
			視覚障害者ガイドヘルプの知識			
		2・3 月	コンピュータ点訳による点字の作文			
評価方法	出席状況・授業への取り組み・課題の提出・毎時間の小テストなどを総合的に評価する。					
使用教科書						
使用教材						
諸経費	テキストの他に点字盤・点筆・点消し棒・点字用紙などの費用として 2,700 円程度					
備考	希望者で夏休みに実施する家庭・福祉科合宿に参加することでより実践的な学びを深めることができる。(参加費用が別途かかる)					

【情報】

講座名	情報演習 A (文書デザイン)		科目名	情報演習 A	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択		授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	文書作成に興味のある者。ビジネス文書実務検定試験受験が必須となる。文書処理に関する基礎技術を学ぶ。タイピング練習、全商ビジネス文書実務検定 1,2 級程度の問題を通年で学習する。					
科目の内容	1 学期	4 月 ・ワープロソフト基本操作① (ワープロソフト概要、タイピング練習 [通年])				
		5 月 ・ワープロソフト基本操作② (文字の入力)				
		6 月 ・文書レイアウト、ビジネス文書作成				
		7 月 ・各種編集作業、表の作成 (罫線の活用、計算、ソート)				
	2 学期	9 月 ・様々な表現方法 (図形の活用、様々な罫線表現、色)				
		10 月 ・ワープロソフトを活用したデザイン、図表等				
		11 月 ・POP デザイン制作				
		12 月 ・DTP ソフトを利用したデザイン広告製作				
	3 学期	1 月 ・DTP ソフトを利用した文書レイアウト応用				
		2~3 月 ・DTP ソフトを利用した紙面のデザインとレイアウト				
評価方法	出席状況、課題制作物提出状況、小テスト、平常活動等を加味して総合的に評価する。					
使用教科書						
使用教材						
諸経費	最大 4,000 円程度 (検定試験受験料)					
備考						

講座名	情報演習B (マルチメディア①)	科目名	情報演習B	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択	授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	マルチメディアに興味のある者。3年次に情報演習G (マルチメディア②)の受講を考えている者は必修科目となる。静止画像を中心として扱う。画像の処理合成、グラフィックデザインの制作等を通じて、各種グラフィックス関連ソフトの使用方法を学ぶ。				
科目の内容	1学期	4月 ・ペイント系アプリケーションソフトの原理と操作方法 5月 ・写真画像の選択編集、色調補正、フィルタの利用、画像合成の方法 6月 ・画像入力装置の操作、文字の作成編集、総合作品制作 7月 ・ドロー系アプリケーションソフトの原理と操作方法			
	2学期	9月 ・ベジェ曲線の作成演習、画像構成、画面効果に関する基礎知識 10月 ・レイアウト編集 11月 ・サイン・ディスプレイ等の制作 12月 ・CDジャケット・ポスター等の制作 (1)			
	3学期	1月 ・CDジャケット・ポスター等の制作 (2) 2～3月 ・CDジャケット制作 (3)			
評価方法	出席状況、課題制作物提出状況、平常活動等を加味して総合的に評価する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費					
備考					

講座名	情報演習C (通信ネットワーク)	科目名	情報演習C	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択	授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	通信ネットワークに興味のある者。ネットワークの基礎、HTMLの理解、ネットワークの構築、ネットワークの運用、ネットワークの安全対策等の学習をおこなう。				
科目の内容	1学期	4月 ・インターネットと情報通信ネットワークの仕組み、HTMLとCSSの基礎と活用 5月 ・通信ネットワークシステムの基本的構成、WEBサーバの構築と活用 6月 ・FTPサーバの利用と構築 7月 ・スクリプト等の活用			
	2学期	9月 ・CGI等の利用と構築(1) 10月 ・CGI等の利用と構築(2) 11月 ・通信ネットワークシステムの構築 12月 ・通信ネットワークシステムの運用・管理			
	3学期	1月 ・WEBページの保護とセキュリティの知識・技術 2～3月 ・WEBページの運用・管理			
評価方法	出席状況、課題制作物提出状況、小テスト、平常活動等を加味して総合的に評価する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費					
備考					

講座名	情報演習D (プログラミング)	科目名	情報演習D	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択	授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	プログラミングに興味のある者。コンピュータプログラミングの考え方を学ぶ。原則としてHTMLやVBA等でのプログラミングの学習を通じて基礎的なプログラミングの方法を学ぶ。				
科目の内容	1学期	4月 ・プログラミングの基礎と原理 5月 ・構造化プログラミングの方法 6月 ・基礎的なプログラム言語を用いた活用 7月 ・様々な簡易プログラミング言語の利用(1)			
	2学期	9月 ・様々な簡易プログラミング言語の利用(2) 10月 ・プログラミングを利用した開発方法と手順 11月 ・開発ツールの利用とライブラリ 12月 ・アプリケーション開発演習(1)			
	3学期	1月 ・アプリケーション開発演習(2) 2～3月 ・アプリケーション開発演習(3)			
評価方法	出席状況、課題制作物提出状況、小テスト、平常活動等を加味して総合的に評価する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費					
備考					

講座名	情報演習E (シミュレーション)	科目名	情報演習E	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択	授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	表計算に興味がある者。Excelを習得したい者。				
科目の内容	1学期	4月 ・Excelの復習(簡単な計算) 5月 ・活用①ワークシート連携(シート間集計、3D参照、シートリンク、データ統合) 6月 ・活用②グラフ、印刷に関する操作 7月 ・データベースに関する操作			
	2学期	9月 ・エクセル応用①表計算機能(様々な関数の活用) 10月 ・エクセル応用②マクロ機能の活用 11月 ・モデル化とシミュレーションについて(1) 12月 ・モデル化とシミュレーションについて(2)			
	3学期	1月 ・表計算の活用、シミュレーションの基本 2～3月 ・自然現象や社会現象のシミュレーション			
評価方法	出席状況、課題制作物提出状況、小テスト、平常活動等を加味して総合的に評価する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費					
備考					

【工業】

講座名	*CAD I	科目名	CAD I	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択	授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	特に限定なし				
科目の内容	1 学期	コンピュータの援用による設計 [Computer Aided Design] 設計製図の基礎を学習する。 <input type="checkbox"/> 3DCAD[Solid Works]システム 4月 ・概要、構成 ・ソフトの基本操作練習 5月～7月 ・3DCAD を用いて基本的な図形作画練習			
	2 学期	9月 ・部品図面、立体物の作図 10月～12月 ・3D プリンターを用いて課題の製作			
	3 学期	1月 ・3D 図面上での部品組立（アセンブリ）練習 2月～3月 ・課題作品製作			
評価方法	出席状況や授業への取り組み姿勢、製作課題・報告書などを総合的に判断して評価する				
使用教科書	工業技術基礎（実教出版）				
使用教材					
諸経費	教科書代				
備考					

講座名	工業技術基礎 Y	科目名	工業技術基礎	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択	授業形態	科目選択者による一斉授業（1 講座 16 名以内）で TT 実習を行う		
履修対象者	ものづくりや工業技術に興味・関心がある者 ただし、1 年次に工業技術基礎 X を履修した者は受講できません				
科目の内容	1 学期	機械・電気に関する分野の基礎的な知識と基本的な工業技術を実習を通して学習する (ア) 機械図面（等角投影図）の見方・描き方 工作機械の測定機器の基礎知識について (イ) 工具・工作機械・測定機器の基本的な使用法、金属加工の基本技術 安全作業について			
	2 学期	(ウ) 旋盤を使用して、真鍮での課題作品製作実習			
	3 学期	(エ) 電気計測の基本実習 電流計・電圧計・テスター・オシロスコープなどの使用法・操作法の実習 (オ) 電子回路の基礎的な組立実習			
評価方法	出席状況や授業への取り組み姿勢、製作課題・報告書などを総合的に判断して評価する				
使用教科書	工業技術基礎（実教出版）				
使用教材					
諸経費	教科書代				
備考					

講座名	工業実習 A (電気系)	科目名	工業実習 A	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択	授業形態	科目選択者による一斉授業(12名以内)で実験・実習が中心		
履修対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・工業の電気について関心がある者。 ・電気に関する資格取得(特に電気工事士や電気主任技術者)を将来考えている者。 				
科目の内容	1 学期	4月～5月 ・発電、送電、配電について ・屋内配線工事の基本 ・工具の使い方(電工ナイフ、ペンチ、圧着ペンチ) 6月～7月 ・外装被覆 ・電線の接続 ・基本となる配線器具(スイッチ、コンセント)への取り付け			
	2 学期	・その他、配線器具への取り付け ・単線図と複線図 ・複数の配線器具を用いた電気工事の配線			
	3 学期	・第二種電気工事士の候補問題(全13問)の配線実習 【 単線図 → 複線図 】 【 複線図 → 配線 】			
評価方法	出席状況や授業への取り組み姿勢、製作課題・報告書などを総合的に判断して評価する				
使用教科書	工業技術基礎(実教出版)				
使用教材					
諸経費	教科書代				
備考					

講座名	工業実習 B (機械系)	科目名	工業実習 B	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択	授業形態	科目選択者による一斉授業(12名以内)で実験・実習が中心		
履修対象者	金属加工・機械工作・ものづくり等に関心のある者				
科目の内容	1 学期	工作機械を用いての実習を通して、基礎・基本的な工業技術を習得する 4月～5月 ・機械図面の見方 ・手描き製図での図面作成練習 ・安全作業について 6月～7月 ・工具、測定機器、工作機械の使用法・操作練習			
	2 学期	・旋盤、フライス盤、ボール盤等を用いて課題作品製作実習 【 旋盤 → 一輪挿し 】 【 フライス盤 → サイコロオブジェ 】			
	3 学期	・旋盤、レーザー加工機等を用いて課題作品製作実習 【 旋盤 → 印鑑ケース 】 【 レーザー加工機 → my 印鑑 】			
評価方法	出席状況や授業への取り組み姿勢、製作課題・報告書などを総合的に判断して評価する				
使用教科書	工業技術基礎(実教出版)				
使用教材					
諸経費	教科書代				
備考	作業服、安全靴の購入を推奨する(体操着、グランドシューズで代用可)				

講座名	工学基礎	科目名	工学基礎	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択	授業形態	科目選択者による一斉授業で講義と実習を行う		
履修対象者	数学と工業に興味・関心がある者。 ・計算技術検定の資格取得を将来考えている者。 以上、2つのうち1つでも該当していれば可				
科目の内容	1 学期	工学の各分野における事象の数理的な処理に関する基礎的な知識と基本的な技術を習得し、活用できる能力と態度を学習する予定である。 4 月 基本的な数理の取り扱い方と関数電卓の使い方 5 月 単位の換算と電卓による計算技術 6 月 組み立て単位の換算と電卓による計算技術 7 月 速さと加速度と電卓による計算技術			
	2 学期	9 月 力と仕事、エネルギー 10 月 ベクトルと計算技術検定の問題 11 月 円運動と計算技術検定の問題 12 月 電流と電圧の計算			
	3 学期	1 月 電気の流れと抵抗の計算 2 月 電圧降下 3 月 数値処理とグラフ			
評価方法	定期考査あり。 出席状況や授業への取り組み姿勢、ノートや提出物などを総合的に判断して評価する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	問題集 約 750 円、電卓 2,000 円				
備考					

【商業】

講座名	簿記 A	科目名	簿記	単位数	4
科目の種類	自由選択	授業形態	選択者による一斉授業		
履修対象者	*経済・経営系の進学希望者*経営者や個人事業主になる可能性のある者*就職希望者* 入試を簿記・会計で受験することを検討している者 その他関心のある者・役立つ資格を取りたい者を広く歓迎するが、大学受験での活用を考えている者や検定級を就職活動・入試で活用したい者は、必ず 2 年次で履習すること。				
科目の内容	1 学期	簿記の基礎・仕訳と転記・決算手続 取引の記帳方法（現金・預金・商品売買など）			
	2 学期	取引の記帳方法（商品売買・手形・各種債権債務・有価証券・固定資産など） 決算整理（収益・費用の見越・繰延など）と決算手続			
	3 学期	検定試験問題の演習 やや進んだ取引の記帳方法			
評価方法	考査（年 4 回）の結果および検定試験の受検、課題の提出状況などを総合的に評価する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	問題集・検定試験受験料・電卓（各自で購入）で、計 3,000 円程度				
備考	履修者は全員、1 月末に「全商簿記実務検定試験」3 級を受検しなければならない。				

講座名	経済活動と法	科目名	経済活動と法	単位数	2
科目の種類	自由選択	授業形態	選択者による一斉授業		
履修対象者	*法学部または経済・経営系の進学希望者*就職希望者 その他、法律一般、物の売買や貸借、労働契約などに関する法規に関心がある者。				
科目の内容	1 学期	社会生活と法…民事法の内容、権利・義務と財産権 民法…財産権と契約①（契約について） 民法…財産権と契約②（物の売買、貸借などについての法規） 民法…財産権の保護（物権法、債務不履行や不法行為への対応）			
	2 学期	社会生活に関する法規（家族法、消費者保護法規など） 労働に関する法規（労働契約、労働者の福祉に関する法規） 企業活動に関する法規（会社法、小切手・手形に関する法規） 紛争の予防と解決			
	3 学期	まとめ 問題演習			
評価方法	考査（年2回）の結果、課題の提出状況などを総合的に評価する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	教科書・補助教材（1,000円程度）の代金以外は不要				
備考					

講座名	ビジネス基礎	科目名	ビジネス基礎	単位数	2
科目の種類	自由選択	授業形態	選択者による一斉授業		
履修対象者	*経済・経営系の進学希望者*経営者や個人事業主になる可能性のある者*就職希望者 その他、企業の活動や商取引、景気などの経済現象に関心がある者を歓迎するが、商業科の入門として設置された科目なので、他の商業科目を選択または選択予定の者に限る。				
科目の内容	1 学期	経済の基礎的な仕組みとビジネス ビジネスの役割（商業…小売業と卸売業について） ビジネスの発展（商業の現状とこれから）			
	2 学期	経済活動と流通（生産・物流・金融・保険・情報通信・サービス業などについて） 流通活動と企業（株式会社などの会社組織の仕組みなど） ビジネスの担当者（実務に必要な計算やマナーなど）			
	3 学期	売買取引と代金決済 ビジネスに必要なコミュニケーション まとめ			
評価方法	考査（年2回）の結果、課題の提出状況などを総合的に評価する。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	教科書代金以外は不要				
備考					

【国際文化理解】

講座名	*観光	科目名	観光	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択	授業形態	履修者による一斉授業		
履修対象者	国内の交通機関や宿泊施設、またはそれらの利用方法や料金体系に関心のある者。関係の業種に進むことを考えている者も適しているが、あくまでも教養講座。				
科目の内容	1 学期	国内交通機関の運賃・料金・サービスと利用方法（概説および鉄道・バス） 旅行プランの企画立案および発表			
	2 学期	国内交通機関の運賃・料金・サービスと利用方法（航空・その他） 国内宿泊施設の確保・予約方法や標準的な利用ルール 旅行プランの企画立案および発表			
	3 学期	国内旅行地理 旅行プランの企画立案および発表			
評価方法	定期考査（年 2 回）や課題の進捗・提出状況、出席などを総合的に評価する。 なお、 <u>休日に外出をし、それをもとにレポートを書く課題を複数回出題する。</u> このレポートが評価の上で大きなウェイトを持つので、 <u>部活動などで休日が多忙な者は、関係する大人とよく相談してから履修相談に来ること。</u>				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	時刻表の代金（1,180 円）および上記レポートのための旅費（各自の旅程による）				
備考	授業内容が国内旅行に限られていることに十分注意してください。				

講座名	*演劇	科目名	演劇	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択	授業形態	履修者による一斉授業		
履修対象者	演劇や、その他の身体や声を使った表現に関心のある生徒				
科目の内容	1 学期	*身体と声を使って心身を解放するゲーム等を通じ、演劇の基礎となる人間関係を築く *心身解放のワークショップ、声による表現・コミュニケーション・身体表現を学ぶ *シナリオの構造の理解 *日常の会話をスケッチして表現する			
	2 学期	*スケッチから演劇へと発展させていく *舞台スタッフの役割について学ぶ *各自のスケッチを総合して演劇のシナリオへと発展させていく *舞台作りの知識を深め、シナリオを創作していく			
	3 学期	*上演に向けて作品を制作する *上演に向けてのレッスン *上演			
評価方法	年間を通してレポート提出（創作シナリオを含む）や授業態度を評価する。また上演をもって考査に代え、これも評価の対象とする。				
使用教科書					
使用教材					
諸経費	なし				
備考	教養講座。なお、演劇の授業は教師が一方的に何かを生徒に教えるという授業ではありません。授業の中で何かを学ぼうという意欲と表現に対する意欲が必要です。身体を使う運動性の高い内容も多い授業です。				

講座名	*ドイツ語・ドイツ文化		科目名	ドイツ語・ドイツ文化	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択		授業形態	履修者による一斉授業		
履修対象者	ドイツ語やドイツ語を第一言語とする国の文化に興味があり、様々な活動に意欲的、積極的に取り組める者。2年次でも3年次でも選択可。					
科目の内容	1学期	言語面：①基礎単語・基本文型・基礎的文法項目など ②簡単な会話 文化面：地理・観光・歴史、風俗・習慣、芸術・スポーツなどについて（ビデオ・写真や現地資料を使つての解説）				
	2学期	言語面：①基礎単語・基本文型・基礎的文法項目など ②簡単な会話 文化面：地理・観光・歴史、風俗・習慣、芸術・スポーツなどについて（ビデオ・写真や現地資料を使つての解説）				
	3学期	言語面：①文法項目（再帰動詞、接続法など初級の続き） ②日常的な会話 ③簡単な内容の聞き取り・書き取りなど 文化面：地理・観光・歴史、風俗・習慣、芸術・スポーツなどについて（ビデオ・写真や現地資料を使つての解説）				
評価方法	定期考査を主とし、授業内の諸活動を加味して総合的に評価する。					
使用教科書						
使用教材						
諸経費	教科書の代金以外は不要					
備考	教養講座です。					

講座名	*スペイン語・スペイン文化		科目名	スペイン語・スペイン文化	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択		授業形態	履修者による一斉授業		
履修対象者	スペイン語やスペイン語を第一言語とする国の文化に興味があり、様々な活動に意欲的、積極的に取り組める者。2年次でも3年次でも選択可。					
科目の内容	1学期	スペイン語の表記と発音と基本挨拶表現 女性名詞・男性名詞、不定冠詞数の表現、 買い物の表現				
	2学期	定冠詞、動詞 <i>querer</i> 時間の表現 複数形 色の表現、体の部分の表現				
	3学期	形容詞 動詞 <i>ser& estar</i> 所有の表現 動詞 <i>tener</i>				
評価方法	定期考査を主とし、授業内の諸活動を加味して総合的に評価する。					
使用教科書						
使用教材						
諸経費	教科書の代金以外は不要					
備考	教養講座です。					

講座名	*フランス語・フランス文化		科目名	フランス語・フランス文化	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択		授業形態	履修者による一斉授業		
履修対象者	フランス語やフランス語を第一言語とする国の文化に興味があり、様々な活動に意欲的、積極的に取り組める者。2年次でも3年次でも選択可。					
科目の内容	1学期	挨拶、自己紹介、文字と発音、数詞 人称代名詞と名詞の女性形・男性形 人や物の紹介、疑問文と否定文、動詞の活用 フランス語圏の地理・歴史、風俗・習慣、文学・芸術・スポーツ・芸能などについて				
	2学期	要望や希望の表現 物や行為に対する好みの表現、形容詞 年齢や学年の表現、所有についての表現 フランス語圏の地理・歴史、風俗・習慣、文学・芸術・スポーツ・芸能などについて				
	3学期	予定や習慣についての表現 フランス語圏の地理・歴史、風俗・習慣、文学・芸術・スポーツ・芸能などについて				
評価方法	定期考査を主とし、授業内の諸活動を加味して総合的に評価する。					
使用教科書						
使用教材						
諸経費	教科書の代金以外は不要					
備考	教養講座です。					

講座名	*中国語・中国文化		科目名	中国語・中国文化	単位数	2
科目の種類	総合・自由選択		授業形態	履修者による一斉授業		
履修対象者	中国語や中国語を第一言語とする国の文化に興味があり、様々な活動に意欲的、積極的に取り組める者。2年次でも3年次でも選択可。					
科目の内容	1学期	中国語の知識が全く無いものとして、初歩段階の内容から学習を始める。 基本的な挨拶表現、声調と母音・子音 動詞「是」、助詞「的」、連動文、「中国の国旗」 助動詞「想」、動詞「有」、「中国の民族」				
	2学期	動詞「在」、前置詞「往」、「中国の首都」 数のいい方、値段のたずね方、「中国の主要都市」 年月日、曜日、年齢のいい方、「中国の世界遺産」				
	3学期	1月 文末の「了」、「中国の教育」 2月 助動詞「会」、「中国の料理」				
評価方法	定期考査を主とし、授業内の諸活動を加味して総合的に評価する。					
使用教科書						
使用教材						
諸経費	教科書の代金以外は不要					
備考	教養講座です。					

講座名	*環境A		科目名	環境A	単位数	2
科目の種類	自由選択		授業形態	履修者による一斉授業		
履修対象者	環境や環境問題（自然環境・社会環境）に興味・関心のある生徒や、将来環境関連の進路を検討している生徒。および実際にさまざまな環境活動を行っている生徒（行いたいと考えている生徒を含む）。					
科目の内容	1 学期	環境問題とはどんな問題なのか（公害問題から環境問題へ） 世界の環境問題の現状は（自然環境問題） 環境問題についての考えを発表				
	2 学期	世界の環境問題の現状は（社会環境問題） つばさの環境活動とは、企業で行っている環境活動とは 環境についてのレポート作成・発表				
	3 学期	企業における環境活動・環境教育 課題についての発表				
評価方法	学期ごとに示す課題をレポートとして提出し、内容について発表を行う。その内容や発表の方法、内容、態度、および授業への出席などを総合的に評価する。 なお、外部の方に授業に来ていただき講義していただくことも予定しており、その際の積極性や受講態度なども評価の対象とする。積極的な姿勢を期待する。					
使用教科書						
使用教材						
諸経費	なし					
備考	自分の意見を積極的に発表できる生徒、積極的に授業に参加し考える生徒を希望します。					

【日本の伝統文化】

講座名	*日本の伝統・文化		科目名	日本の伝統・文化	単位数	2
科目の種類	自由選択		授業形態	科目選択者による一斉授業		
履修対象者	日本の伝統文化に興味がある者。 一講座につき 15 名まで。（希望者が多い場合は選抜を行います）					
科目の内容	1 学期	華道の稽古 生け花の基本について実習を通して学ぶ。（龍生派） 4～5 月 水盤・コンポートを使用した基本花型 6～7 月 水盤・コンポートを使用した自由花型				
	2 学期	華道の稽古 生け花の基本について実習を通して学ぶ。（龍生派） 9 月 投げ入れを使用した花型、線・面・マスの手法、文化祭発表 茶道の稽古 客の心得、風炉の点前について実習を通して学ぶ。（表千家） 10～12 月 割り稽古				
	3 学期	茶道の稽古 客の心得、風炉の点前について実習を通して学ぶ。（表千家） 1～3 月 薄茶風炉点前の稽古				
評価方法	毎回の授業の取り組みを評価する。					
使用教科書						
使用教材						
諸経費	30,000 円程度（お茶、お菓子、花、その他道具代） その他					
備考						